



【モルガン・スタンレー】知っているようで知らない、外資系金融機関 まとめ＜1＞



M&Aのアドバイザーとしても活躍する外資系金融機関。名前はよく耳にするけど、実はどんな金融機関なのかよく知らないという人もいるのでは？

そこで、各社の沿革、日本法人の情報、日本企業に関連した主なM&A案件などをまとめてみました。第1回は、米ニューヨークを本拠地に世界42ヵ国以上にオフィスを展開するモルガン・スタンレーを取り上げます。

モルガン・スタンレー 沿革

グローバル日本1935年グラス・スティーガル法により銀行・証券業務の分離が定められ、ジョン・ピアポント・モルガンが設立したモルガン商会から債券引受け部門が独立。米ニューヨーク、ウォール街にモルガン・スタンレー・アンド・カンパニーが誕生する1941年ニューヨーク証券取引所の会員権を取得1970年東京駐在員事務所を開設1971年M&A事業に参入1984年モルガン・スタンレー・インターナショナル・リミテッド

東京支店を設立し、証券業免許を取得1986年ニューヨーク証券取引所に上場東京証券取引所での取引資格を取得1987年・大阪証券取引所での取引資格を取得・モルガン・スタンレー投資顧問株式会社を設立する1988年商号を「モルガン・スタンレー・インターナショナル・リミテッド」から「モルガン・スタンレー・ジャパン・リミテッド」に変更1989年・東京金融先物取引所での取引資格を取得・名古屋証券取引所 特別参加者資格を取得（2012年

資格返上）1995年投資信託委託業務の免許取得に伴い、「モルガン・スタンレー投資顧問株式会社」から「モルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信株式会社」に商号変更1996年大手町から恵比寿へ移転1997年ディーン・ウィッター・ディスカバー・アンド・カンパニーとの合併により、モルガン・スタンレー・ディーン・ウィッター・ディスカバー・アンド・カンパニーとなる1998年日本での不動産投資をスタート。株式会社モルガン・スタンレー・プロパティーズ・ジャパンを設立1999年本国でのディーン・ウィッター・ディスカバー・アンド・カンパニーとの合併を受け、モルガン・スタンレー・ディーン・ウィッター・ジャパン・リミテッドとして営業開始2001年商号を「モルガン・スタンレー・ディーン・ウィッター・アンド・カンパニー」から「モルガン・スタンレー」に変更商号を「モルガン・スタンレー・ディーン・ウィッター・ジャパン・リミテッド」から「モルガン・スタンレー・ジャパン・リミテッド（モルガン・スタンレー証券会社）」に変更2004年ジャスダック証券取引所での取引資格を取得2005年東京工業品取引所 受託会員資格を取得（2012年

資格返上）2006年株式会社制へ移行し、モルガン・スタンレー証券株式会社に2007年持株会社制へ移行し、日本における持株会社として、モルガン・スタンレー・ホールディングス株式会社を設立。株式会社モルガン・スタンレー・プロパティーズ・ジャパン、その他関係会社の一部業務を承継し、社名をモルガン・スタンレー・キャピタル株式会社に2008年銀行持株会社制へ移行2010年三菱UFJフィナンシャル・グループと日本における証券合併事業の開始に伴い、モルガン・スタンレー証券株式会社からモルガン・スタンレーMUFG証券株式会社に社名変更2012年「モルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信株式会社」から「モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社」に商号変更2014年恵比寿から大手町へ移転

※モルガン・スタンレーHPを基に編集部作成

モルガン・スタンレー 日本法人

日本での展開の歴史を見ても、どうもややこしいモルガン・スタンレーですが、現在、日本におけるモルガン・スタンレーの持株会社、モルガン・スタンレー・ホールディングス株式会社の傘下にある主要会社は次の3社です。

モルガン・スタンレー・ホールディングス所在地：東京・大手

大手町フィナンシャルシティ サウスタワー

モルガン・スタンレーMUFG証券機関投資家や法人向けの金融商品取引業務、リサーチ業務、資本市場

業務モルガン・スタンレー・インベストメント

・マネジメント株式会社公的年金、企業年金、金融機関などの機関投資家向け資産運用業務モルガン・スタンレー・キャピタル不動産投資関連業務、プライベート・エクイティ業務

なお、M&Aアドバイザーなどの投資銀行業務は、三菱UFJフィナンシャル・グループと日本における証券合併事業をスタートさせたことに伴い、同グループの三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社が担っています。三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社とモルガン・スタンレーMUFG証券との関係は次のようになっています。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社HPより

日本企業関連の主なM&A案件

過去5年間で三菱UFJモルガン・スタンレー証券がアドバイザーとして携わった日本企業関連の主なM&A案件は以下のとおり。数々の大型案件を手掛けており、モルガン・スタンレーのグローバルなネットワークとMUFGの強い国内基盤、日本企業とのつながりが、シナジー効果を生んでいるようです。

＜買収側アドバイザーとして担当した案件＞ ※太字は単独で務めた案件

被買収企業買収企業買収額2012年7月イージス・グループ（英国）電通（日本）約4,000億円2013年9月グラクソ・スミスクライン（英国）2飲料ブランドサントリー食品インターナショナル（日本）約2,106億円2014年1月ビーム（米国）サントリーホールディングス（日本）約1兆6,500億円2015年2月ポリポワ（米国）旭化成（日本）約2,600億円2015年7月スタンコープ（米国）明治安田生命（日本）約6,200億円2016年3月東芝メディカルシステムズ（日本）キャノン（日本）約6,655億円2016年7月ジョイ・グローバル（米国）コマツアメリカ（米国/日本）約3,000億円2016年11月カルソニックカンセイ（日本）CKホールディングス（日本/米国）※KKRの傘下の特別目的会社約5,000億円2017年1月日立工機（日本）HKホールディングス（日本/米国）※KKRの傘下の特別目的会社約1,470億円2017年9月東芝メモリ（日本）パンゲア（日本/米国）※ベインキャピタルを中心とした特別目的会社約2兆円

＜被買収側アドバイザーとして担当した案件＞ ※太字は単独で務めた案件

被買収企業買収企業買収額2014年5月コノプロ（米国）北米パスタ・ソース事業ミツカン（日本）約2,150億円2014年6月プロテクティブ・ライフ（米国）第一生命保険（日本）約5,750億円2015年8月シメトラ・フィナンシャル（米国）住友生命保険（日本）約4,500億円2016年5月三菱自動車工業（日本）日産自動車（日本）約2,300億円2016年6月スーパーセル（フィンランド/日本）※ソフトバンク傘下テンセントホールディングス（中国）約7,700億円2017年2月ブラジル
キリンホールディングス（ブラジル/日本）ババリア（ブラジル/オランダ）※ハイネケン傘下約770億円2017年9月カルゴン・カーボン（米国）クラレ（日本）約1,200億円

まとめ：M&A Online編集部